

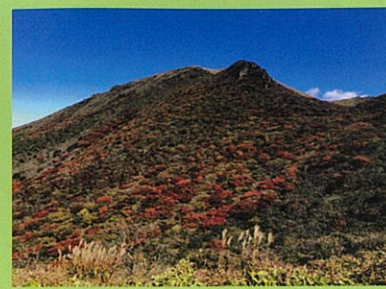


くじゅう連山

一七〇〇m以上の山々が連なり「九州の屋根」ともいわれる、くじゅう連山。大分県の九重町・竹田市・由布市の3つの市町村にまたがり、一帯は一九三四年に阿蘇くじゅう国立公園に指定されている。

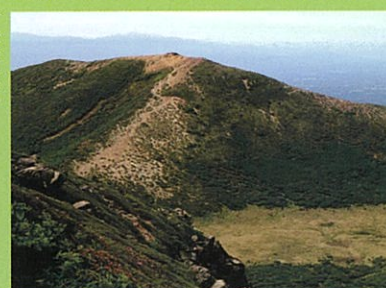
その特徴は20以上の火山群とその周辺に広がる雄大な草原。現在も噴煙を上げる硫黄山（立入禁止）や国内最大級の中間湿原など火山と草原が織りなす自然豊かな風景を作り出している。初夏のミヤマキリシマ、秋の紅葉など四季折々の自然を楽しむことが出来、「山登りはくじゅうに始まりくじゅうに終わる」といわれるほど多くの登山者を魅了し続ける山々である。

星生山 標高一七六二m



1700m級の山の中で比較的登山口から近く人気の山。山名は仏教語の法性に由来する。主な登山口：牧ノ戸峠

稲星山 標高一七四四m



久住山の東に位置し、黄褐色の砂礫に覆われる山。山頂には石像が祀られている。主な登山口：牧ノ戸峠、南登山口

久住山 標高一七八六・五m



くじゅう連山主峰のひとつ。かつてはくじゅう連山最高峰と謳われた。主な登山口：牧ノ戸峠、赤川

天狗ヶ城 標高一七八〇m



御池（みいけ）湖畔に佇む山。季節ごとに山の色が御池に映りこむ。主な登山口：牧ノ戸峠

中岳 標高一七九一m



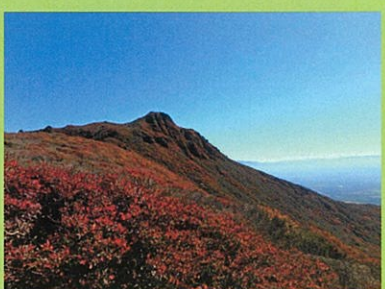
九州本土最高峰。古くから御池（みいけ）と並び山岳信仰の対象となっていた。主な登山口：牧ノ戸峠

白口岳 標高一七二〇m



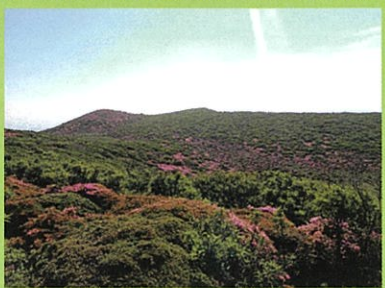
白口谷・白口越から由来し山名がついた。銚立峠からのルートは上級者向け。主な登山口：牧ノ戸峠、一番水、沢水

大船山 標高一七八六・三m



くじゅう連山東の主峰。ミヤマキリシマ紅葉の時期には大船登山バスが運行される。主な登山口：長者原、吉部、岳麓寺

北大船山 標高一七〇六m



大船山・北大船山一帯のミヤマキリシマは国の天然記念物に指定される。主な登山口：長者原、吉部、岳麓寺

くじゅう連山 1700メートル以上の山々

くじゅう連山には1700m以上の山が9座あり、古くから山岳信仰の対象として人々から敬われてきた

標高について*は国土地理院火山基本図 他は国土地理院電子地形図に準じた。

人気のルートは？

- 牧ノ戸峠登山口から久住山・中岳ルート
 - 長者原登山口から坊ガツルルートなど
- いずれも片道2〜2時間半かかり、初心者向けといえどもしっかりと登山の準備を！

くじゅう？九重？久住？

山に関する「くじゅう」の名称は以下の通り
くじゅう連山・地域の総称
久住山・・・くじゅう連山の主峰のひとつ
九重火山群・・・地質学上の呼称

涌蓋山

くじゅう登山

九州本土最高峰の中岳（一七九一m）をはじめとした一七〇〇m以上の山々は9座。登山口は20以上あり、片道1時間ほどで登れる猟師岳から、くじゅう連山縦走まで、個人の体力、天候、目的に合わせて登山コースを選ぶことが出来る。初心者でも楽しめる山域だが、毎年準備不足や経験不足により道迷いや事故が発生している。事前にしっかりと登山計画を立て登山届は必ず提出を。長者原ビジターセンターのホームページでは最新登山情報を確認できる。



2つの御池

噴火口跡に出来た池でどちらも「御池」と記載されるが、大船山の池は「おいけ」、中岳直下にある池は「みいけ」と呼ばれている。



大船山 御池（おいけ）
秋にはドウダンツツジやコミネカエデなどの紅葉が色鮮やかに湖面に映り、多くの登山者が訪れる。



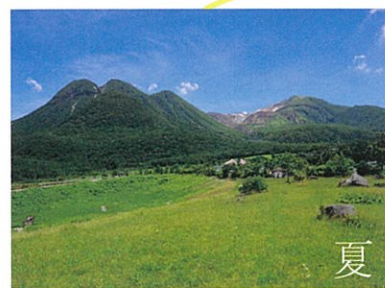
中岳直下 御池（みいけ）
山岳信仰の象徴として崇められ上宮が設けられていた。冬季は湖面が凍結し、冬山登山の目的地としても人気。

2つのラムサール条約登録湿地

坊ガツル湿原とタデ原湿原は国際的に重要な湿地として、2005年にラムサール条約に登録された国内最大級の中間湿原。いずれも地域住民やボランティアによる野焼きなどの保全活動により維持されている。



坊ガツル湿原
くじゅう連山のほぼ中央に位置しキャンプ場や法華院温泉などを有するくじゅう登山の一大拠点。
標高：約1300m 面積：約51ha



タデ原湿原
九重火山群の山麓湧水地に作られた湿原。長者原ビジターセンターに隣接し木道が整備されている。
標高：約1000m 面積：約38ha

山の数え方

1座2座と数える。

これは古来山頂は神仏が座る場所と考えられてきたため。くじゅう連山は御池などを中心に山岳信仰の地として崇められてきた。現在は登山者で賑わう山となったが、自然に対する畏敬の念は忘れないでいたい。



くじゅうの四季

春は黒なり 夏は青なり
秋は赤なり 冬は白なり

これは古文書「九重山記」（1770年）に記されたくじゅうの四季を表す言葉。春は野焼きの黒、夏は山々の青、秋は紅葉の赤、冬は雪の白と四季折々美しい色彩を織りなしてきたくじゅう。現在では、ミヤマキリシマ（5月中旬から6月中旬頃。低山から咲き始める）と紅葉（10月中旬から11月上旬頃。山頂から色づく）の時期はその美しさに魅了され、全国から多くの方が来訪する。



くじゅうカレンダー

3月 野焼き 4月 山開き 5月中旬～6月中旬 ミヤマキリシマ 7月 8月 夏山登山 9月 10月中旬～11月上旬 紅葉 12月 1月 2月 冬山登山